

女学生ことばの文末形式―キャラクターとの関連―

菅 よし子

一 調査目的

女言葉の一つとしてしられる女学生ことば。この言葉使いは明治時代から高等女学校に通う女学生達の間で使用された独特な言葉使いである。現在、実際に使用している人はほとんどいないが、小説や漫画では未だに使用され、主に品のある女性の使用する言葉として表現されている。

本稿では、昭和初期の女学生達を主人公とした長編小説において、女学生ことばという語の中、文末に立つ諸形式が、その発話者のキャラクターとどのような関連があるか調べることを目的とした。

二 調査方法

本稿は一九三二年（昭和七）に書かれた吉屋信子の『わすれなぐさ』と、一九三七年（昭和一二）に書かれた川端康成の『乙女の港』を調査対象とし、両作品の台詞を老若男女問わず全て抜き出し、それらをデータ化した。なお、入力する際『乙女の港』は旧仮名文字づかいから新仮名づかいに直した。両作品の発話に対して、中村桃子氏の『女ことば』はつくられる、本田和子氏の『女学生の系譜―彩色される明治』で紹介されている「てよ」「だわ」「のよ」「ですわ」「ますわ」「ですね」「ますね」「で

すの」「ますの」「ですよ」「ますよ」「ことよ」という女学生ことばの語尾が含まれているかチェックした。また、各登場人物の全台詞中、それぞれの語を含む台詞の割合を出現割合とした。なお今回、「ですよ」「ますのよ」といった発言は「のよ」と「ですの」「ますの」どちらもカウントした。また、文末とならず、後に続く場合は対象外とした。

調査をまとめる際に、最も主要な各三人の女学生と、それ以外の女学生、女学生ではない他の人々とまとめた。

各小説の主要な女学生のキャラクターは以下の通りである。なおキャラクター付けをする際、当時流行りの宝塚や、映画を好み、おしゃれを楽しむグループである「軟派」と、頑固で堅苦しく、勉強熱心なグループ「硬派」を用いた。また、外交的であり人より関わりうとするタイプを「積極的」、恥ずかしがり、或いは外交的ではないタイプを「内向的」とした。

『わすれなぐさ』

牧子（弓削牧子）：「わすれなぐさ」の主人公。「個人主義者」であり「無口で風変わり」である。三年生。「軟派」と「硬派」のどちらにも属さず中立している。

陽子（相庭陽子）：「軟派」のトップ。学校以外の稽古事として仏語とピアノを習っている。父は実業家で裕福な家庭である。三年生。「軟

派」かつ「積極的」な性格。

一枝(佐伯一枝)：「硬派」のトップ。「全級の模範生」である。未亡人の母と幼い弟妹と暮らしている。三年生。「硬派」かつ「内向的」な性格。

『乙女の港』

三千子(大河原三千子)：内気で恥かしがり屋。一年生。中立しており「内向的」な性格。

洋子(八木洋子)：成績優秀・容姿端麗でありながら、聖女のような優しさと正しさを備えた人物。五年生。「硬派」寄りで多少「積極的」な性格。

克子：活発で積極的。はっきりとした言動をする人物。きつい性格。四年生。「軟派」よりで「積極的」な性格。

三 調査結果

本章では、調査結果を個々の語と全体的な使用状況とに分けて、各小説の主要な女学生のキャラクターとの関連に注目しながらまとめる。調査結果は以下の通りである。

三― 個々の語の使用状況

今回の調査では、主要な女学生全員に、何かしらの女学生ことばの使用が認められた。先行研究で女学生ことばとする語の使用回数(その語による文末を含む台詞)をまとめた表一から明らかのように、「てよ」「だわ」「のよ」「ですわ」「ますわ」「ですの」「ますの」「ことよ」は、発話者がほぼ女学生である。中には他者による使用も見られたが、その割合を見てみると非常に少ない値を示していることから、これらは女学生こ

とばと見ても良い。

一方「ですよ」は各作品で他女学生が一度使用したことが確認できるが、その他の人物の発話回数が非常に目立っていることがわかる。「ですね」「ますね」「ますよ」に関しては女学生の発言が全くなく、男性を含む他者の発言のみである。ここから昭和前期は「ですよ」「ですね」「ますね」「ますよ」は女学生ことばとは言いがたいと判断できる。

次に、表一と、各小説の主要三人の本稿で認定する女学生ことばの出現割合をまとめた表二に注目しながら、前述した女学生ことばと認められる語と、発話者である各作品の主要な女学生のキャラクターとの関連性を見ていきたい。

まず、「てよ」に注目したい。『わすれなぐさ』では、今流行に敏感でおしゃれを楽しむ「軟派」の陽子は比較的「てよ」を使用しているが、「個人主義」の牧子はほとんど使用が見られず、勉強熱心で真面目な「硬派」の一枝に関しては一切使用していない。それに比べ、『乙女の港』では主要な女学生全員が「てよ」を使用している。特に「軟派」寄りの克子、「硬派」寄りの洋子の出現割合は八%近くなっている。

「だわ」は各作品とも皆使用していた。表二での割合を見てみると『わすれなぐさ』の陽子・一枝は二%、牧子に関しては一%を切っている。それに対し『乙女の港』では主要な女学生全員が二%以上であり、三千子に関しては四%に達している。なお、牧子と三千子を較べると、牧子は一%に満たないのに対し、三千子は四%の出現割合であり、少し差が見られる。

「のよ」は両作品において主要な三人の女学生全員が使用しており、特に「硬派」である一枝・洋子の「のよ」の出現割合が高くなっている。また「軟派」寄りで「積極的」な陽子・克子も、「硬派」の二人に及ば

ないながらも、出現割合は一割を超えている。どちらにも属さない牧子・中立している三千子の「のよ」の出現割合は「硬派」「軟派」よりもぐんと低くなっている。ただし、三千子の場合、女学生ことばの中で「のよ」の出現割合が、彼女の台詞の中最も高くなっている。

「ますわ」に関しては、両作品の主要な女学生全員の使用が見られたが、特に『わすれなぐさ』の陽子の使用が目立っている。陽子と同じ「軟派」寄りの克子も、出現割合は低いが『乙女の港』の主要な女学生の中では一番高い割合である。

また、「ですの」の主な使用者は、両作品とも「軟派」「硬派」のどちらにも属さない牧子・三千子であった。『わすれなぐさ』の場合、使用者が牧子のみであり、牧子を使用する女学生ことばの割合の中で一番を占めている。

「ことよ」は各作品の「軟派」寄りの陽子・克子、「硬派」寄りの一枝・洋子が使用しており、牧子・三千子は使用していない。出現割合自体は高くないことが見てとれる。

「ですわ」は各作品で「軟派」の陽子・克子、中立している牧子・三千子の使用が見られ、「硬派」の一枝・洋子に使っていないかった。出現割合は各作品で牧子、克子が高く、この二人に性格上の共通点は見られない。

「ますの」を見てみると、『わすれなぐさ』では牧子・陽子が各々使っている。全体の出現割合は低い。また『乙女の港』では女学生では三千子のみの使用が見られた。なお、陽子とタイプが似ている克子の使用はなかった。似た位置に属している牧子・三千子が「ますの」を使用する傾向が見られた。

三―二 全体的な出現割合

以下、本稿で認定する女学生ことばの使用回数と出現割合をまとめた表三に注目しながら、全体的な使用状況を見てみる。

『わすれなぐさ』では、陽子は三四%、一枝は三〇%と全体の三割以上を女学生ことばは独特の語尾で埋めている。陽子と一枝は「軟派」と「硬派」の相反するグループに属しているが、互いに出現割合が高いことがわかる。陽子・一枝に比べ、「軟派」「硬派」に属さない「個人主義者」である主人公の牧子の女学生ことばの出現割合は二一%と、他の二人より一〇%以上下回っている。この結果は明らかにキャラクターによる差がでていることを表している。

『乙女の港』でも、「硬派」寄りの洋子、「軟派」寄りの克子が共に二六%の出現割合であり、女学生ことばの使用が目立っているが、中立している三千子は一八%と出現割合がぐっと下がっており、『わすれなぐさ』と同じような傾向が見られた。

中村桃子氏は、明治二十二年に書かれた三宅花圃の『藪の鶯』で、「てよ」「だわ」「のよ」といった女学生ことばは「軽薄な女子学生」が使っており、「規範的女子学生」つまり今回言う「硬派」に近い女学生は使用していないかったことを示しているが、今回の調査で、明治から昭和初期にかけて女学生による女学生ことばの使用が増えており、むしろ「規範的女子学生」に近い「硬派」の女学生ことばの使用が目立ってきていることがわかった。

三千子の出現割合が、他の二人に比べ下がるのは、三千子がまだ女学校一年生ということも考えられるが、三千子に近い位置にいる牧子も他二人より出現割合が減っていることから、極端ではないポジション、つまり「硬派」「軟派」に属さないいわば中間の立場にいる女学生は、女

学生ことばを多くは使用しないということがわかり、キャラクターによる女学生ことばの使用の差が見られた。

四 まとめ

今回の調査では、先行研究で挙げられている「女学生ことば」のうち、「てよ」「だわ」「のよ」「ですわ」「ますわ」「ですの」「ますの」「ことよ」は、表一で示されているように女学生達の使用回数が多いことから、昭和初期の女学生ことばとして認められる。しかしながら「ですよ」「ですわ」「ますね」「ますよ」に関しては、中には女学生の使用が認められるものの、男性を含む他の人物の発言が目立つため、昭和初期の女学生ことばとしては認められなかった。

また今回の調査は、女学生ことばの文末に立つ諸形式と、その発話者のキャラクターの関連を見出すことを目的として掲げた。結果として個々の語の使用状況でも、全体的な出現割合でも、女学生ことばの文末詞とその発話者のキャラクターの関連が見られた。

特に個々の語では、表二から「だわ」の様にキャラクターに関係なく女学生が好んで使用する文末形式、「ますわ」といった「軟派」が好む文末形式、「のよ」「ことよ」といった「硬派」が好む文末形式、「ですの」「ますの」といった中立している女学生が好む文末形式、「ですわ」といった「軟派」と中立している女学生が好む文末形式と、キャラクターによって積極的に使用する語とそうでない語の傾向が表れた。「てよ」に関しては両作品の間に傾向の違いが見られたが、それ以外の語はキャラクターによって上記の様な傾向が見られた。

全体的な出現割合に関しても、各作品で「軟派」寄りである陽子・克子、「硬派」寄りである一枝・洋子の女学生ことばの出現割合が全体の

三割近くなっているのに対し、「軟派」「硬派」に属さない中立的な牧子と三千子は二割程度となっており、「軟派」「硬派」と中立する女学生の間に約一割の差が見られた。ここから、女学生の中でも特に「軟派」「硬派」が女学生ことばをより好んで使用していることがわかった。

先行研究では、「硬派」に近い「規範的女子学生」は女学生ことばを使用しない事が言及されていたが、本稿の調査ではむしろ「硬派」の女学生ことばの積極的な使用が見られ、先行研究との差異が見られた。この究明を今後の課題としたい。

調査資料

吉屋信子『わすれなぐさ』（河出書房新社 二〇一〇）

川端康成『川端康成全集 第二十巻』（新潮社 一九八二）

参考文献

中村桃子『女ことば』はつくられる』（ひつじ書房 二〇〇七）

本田和子『女学生の系譜―彩色される明治』（青土社 一九九〇）

稲垣恭子『女学校と女学生―教養・たしなみ・モダン文化』（中公新書 二〇〇七）

表一 女学生ことば（先行研究に基づく認定）使用回数

	てよ	だわ	のよ	ますわ	ですの	ことよ	ですわ	ますの	ですよ	ですわ	ますわ	ますよ
牧子	2	1	5	6	8	0	4	2	0	0	0	0
陽子	10	4	26	12	0	4	2	2	0	0	0	0
一枝	0	1	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0
他女学生	3	2	3	0	0	3	1	0	1	0	0	0
他	0	2	5	0	0	0	0	1	10	4	1	6
女学生計	15	8	43	19	8	8	7	4	1	0	0	0
合計	15	10	48	19	8	8	7	5	11	4	1	6

	てよ	だわ	のよ	ますわ	ですの	ことよ	ですわ	ますの	ですよ	ですわ	ますわ	ますよ
三千子	7	13	21	3	12	0	2	3	0	0	0	0
洋子	16	8	27	1	1	2	0	0	0	0	0	0
克子	10	3	14	2	0	1	3	0	0	0	0	0
他女学生	13	16	19	0	0	1	0	0	1	0	0	0
他	0	2	5	1	3	0	0	2	6	2	0	10
女学生計	46	40	81	6	13	4	5	3	1	0	0	0
合計	46	42	86	7	16	4	5	5	7	2	0	10

注 使用回数とは、その語による文末を含む台詞数。

表二 各小説主要三人の女学生ことば（本稿で認定する）の出現割合

	てよ	だわ	のよ	ますわ	ですの	ことよ	ですわ	ますの
牧子	1.5%	0.8%	3.8%	4.5%	6.1%	0.0%	3.0%	1.5%
陽子	5.7%	2.3%	14.9%	6.9%	0.0%	2.3%	1.1%	1.1%
一枝	0.0%	2.6%	23.1%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%
他女学生	3.1%	2.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	1.0%	0.0%

	てよ	だわ	のよ	ますわ	ですの	ことよ	ですわ	ますの
三千子	2.1%	4.0%	6.4%	0.9%	3.7%	0.0%	0.6%	0.9%
洋子	7.6%	3.8%	12.9%	0.5%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%
克子	8.1%	2.4%	11.3%	1.6%	0.0%	0.8%	2.4%	0.0%
他女学生	7.1%	8.7%	10.3%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%

表三 全体の女学生ことば（本稿で認定する）の使用回数・出現割合

	発話者	台詞数	女学生ことば 使用回数	女学生ことば 出現割合	女学生 ことば計	全体出 現割合	台詞合 計
わすれなぐさ	牧子	132	28	21.2%	120	18.0%	668
	陽子	175	60	34.3%			
	一枝	39	12	30.8%			
	他女学生	98	12	12.2%			
	他	224	8	3.6%			
乙女の港	三千子	326	61	18.7%	211	22.1%	956
	洋子	210	55	26.2%			
	克子	124	33	26.6%			
	他女学生	184	49	26.6%			
	他	112	13	11.6%			